

玉川上水・野の花だより No. 29

コヒルガオ (*Calystegia hederacea* Wall.)

中央大学研究開発機構・機構教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026年 7月16日

猛暑日が続いています。笹塚駅近くの玉川上水第三号橋のたもとで、コヒルガオが、元気に咲いています。ピンク色で花冠は3~4cm、雄しべは5本、雌しべは1本で、真ん中にある純白の筒の中に、おさまっています。

アサガオは、早朝に咲き、日中にしぼみますが、この花は日中でも咲き続けるため、ヒルガオという名前がついています。どんなところでもたくましく咲く花で、右の写真にみるように、明日、咲くと思われる花は、既につぼみがふくらんでいます。次の次の日、それ以降とつぼみの準備は万端です。見習わないといけないですね。

「準備がすべてです」。

葉は、ほこ形で左右に大きく張り出しており、可憐な花に比して、意志の強さを感じられます。つぼみは、2枚の苞葉でしっかりと保護されており、全力で暑い夏を乗り切ろうとしています。

「雑草という名の草はない。どんな植物にも名前があり、それぞれの場所できている」という「自然を尊重する考え方」を彷彿とさせる風景です。



写真左 コヒルガオ



写真右 コヒルガオのつぼみ（明日開花するつぼみ、そのあとのもの、と続いています）

2026年7月15日 第三号橋のたもと（玉川上水笹塚駅周辺）